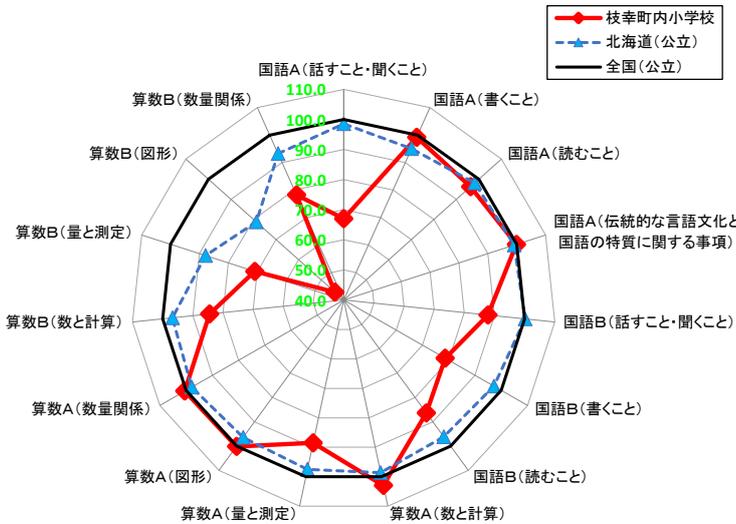


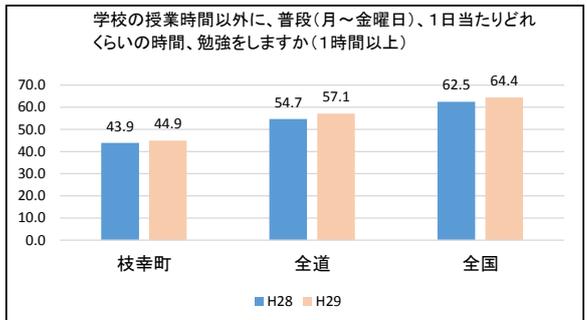
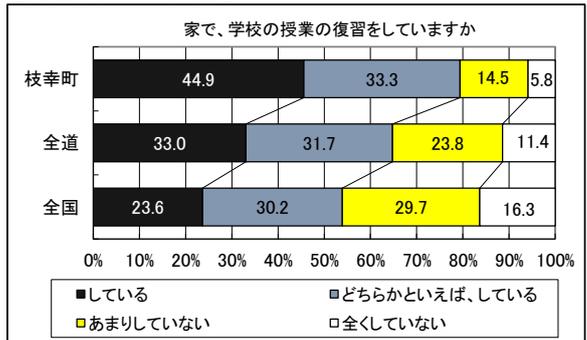
■ 枝幸町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 9校、児童数: 69人)

【教科全体の状況】

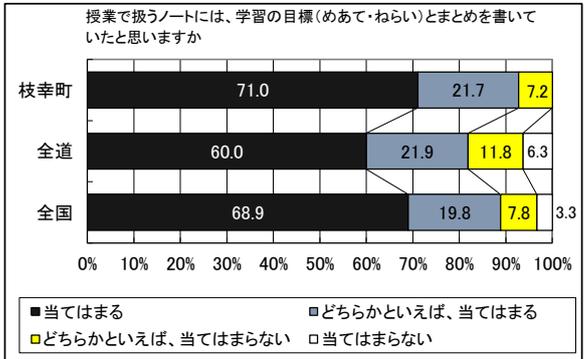
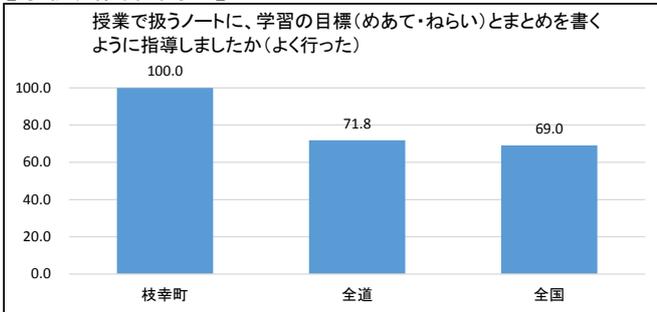
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 算数Aでは、「数と計算」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。	○ 授業で扱うノートに学習の目標とまとめを書くよう指導を徹底したことにより、授業で扱うノートに目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思うと回答した児童の割合が全国を上回るとともに、学習内容の定着が図られ、算数Aの「数と計算」「図形」「数量関係」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 家で、学校の授業の復習をしている児童の割合が全国を上回るとともに、学校の授業以外に、1日当たり1時間以上勉強をしていると回答した児童の割合が前年度より増加しているが、全国を下回っていることから、家庭や地域と連携した家庭学習習慣の確立に向けた取組を一層進める必要がある。
学校質問紙	○ すべての学校が、「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」と回答している。	

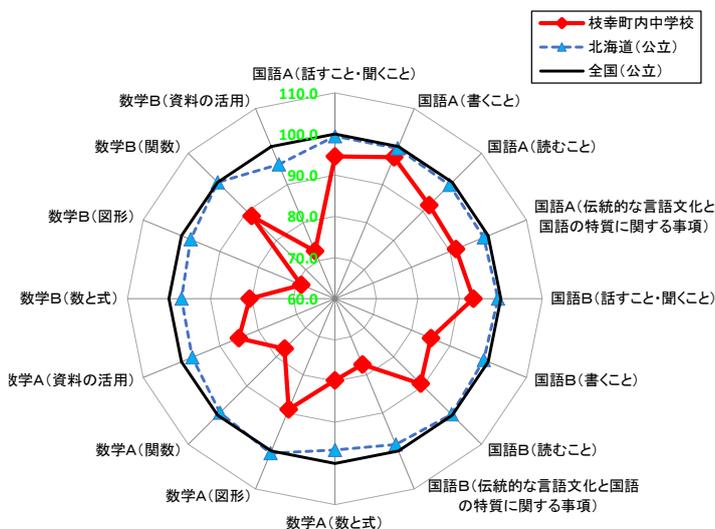
【枝幸町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の調査結果の分析を踏まえた学校改善プランの見直しと児童一人一人に対するきめ細かな指導の実施
- ◎ 「家庭学習のとびら」を活用した学習習慣の確立を図る取組
- ◎ 「えさっ子の未来を拓く十か条」を生かした、学校・家庭・地域が一体となった学習習慣、生活習慣改善の取組
- ◎ ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」を活用した授業改善の取組

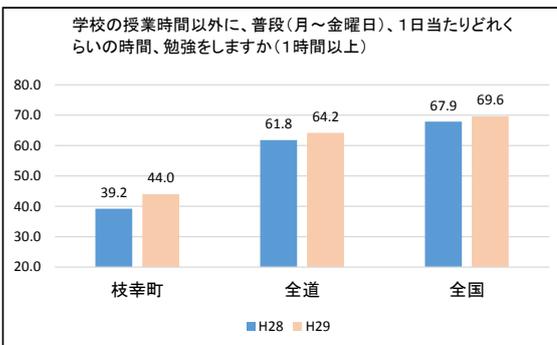
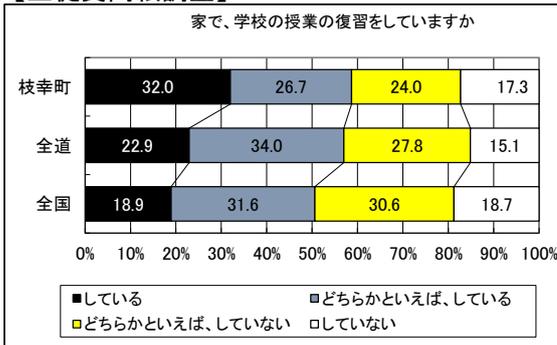
■枝幸町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:75人)

【教科全体の状況】

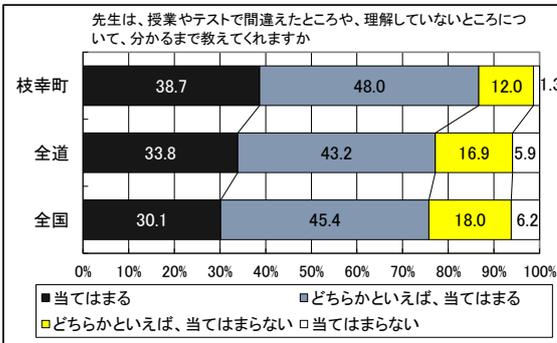
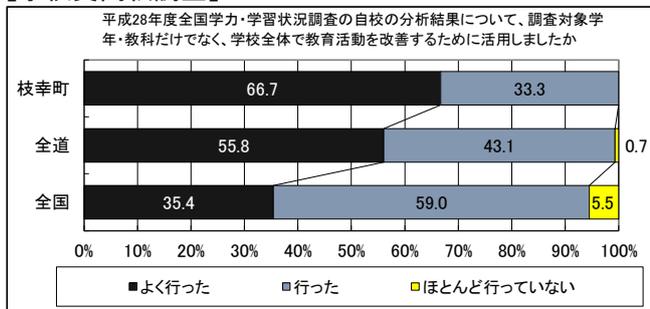
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「書くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果を基に、学校全体で授業改善を図り、生徒の学習状況を踏まえた指導を充実したことにより、「先生は、間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強する」と回答した生徒の割合が、前年度より増加している。	○ 家で、学校の授業の復習をしている生徒の割合が全国及び全道を上回るとともに、学校の授業以外に、1日当たり1時間以上勉強をしていると回答した生徒の割合が前年度より増加しているが、全国を下回っていることから、家庭や地域と連携した家庭学習習慣の確立に向けた取組を一層進める必要がある。
学校質問紙	○ 「平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【枝幸町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の調査結果の分析を踏まえた学校改善プランの見直しと生徒一人一人に対するきめ細かな指導の実施
- ◎ 「家庭学習のとびら」を活用した学習習慣の確立を図る取組
- ◎ 「えさっ子の未来を拓く十か条」を生かした、学校・家庭・地域が一体となった学習習慣、生活習慣改善の取組
- ◎ ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」を活用した授業改善の取組